



# クローズアップ インタビュー

旭日双光章受章者 石川昭吾氏(70歳)

## — 受章の感想 —

この度はからずも春の叙勲に際しまして受章の栄に浴し、身に余る光栄と深く感謝しております。

これもひとえに皆さま方の多年にわたる温かいご指導ご支援の賜と感謝しております。今後はこの栄誉に恥じることはないよう二層精進し、地域社会の発展のために報いたいと思っております。

## 主な経歴

昭和55年4月～昭和56年3月 県立高浜高等学校PTA会長  
 昭和56年4月～昭和60年3月 碧南警察署少年補導委員  
 昭和58年4月～平成3年3月 高浜市議会議員(当選2回)  
 昭和62年5月～昭和63年4月 高浜市議会副議長  
 平成3年4月～平成15年4月 愛知県議会議員(当選3回)  
 平成15年11月10日 愛知県政功労者(感謝状受章)

平成22年春の叙勲の発表があり、石川昭吾さん(春日町在住)が旭日双光章を受章されました。石川さんは市議会議員、また県議会議員として20余年の間、高浜市の発展に尽力されました。受章の喜びや仕事についてお聞きしましたので、紹介します。

## — 仕事について —

### ● きっかけ

地域の小学校、中学校、高校とPTAの役職をさせていただき、駐在員(現在の町内会長)終了と同時に、地域の皆さま方からご推薦をいただき、市議会議員として2期市政に携わり、その後多くの皆さま方からご支援をいただき県議会議員として3期県政の進展のために努力をさせていただきました。よろしくお願いいたします。

### ● 苦勞

市民の代表として市民の皆さま方の要望を聞き県に働きかけをしても、各市町の代表が集まっている議会です。高浜市だけの要望を受け入れてもらうことはできません。高浜市の政策と事業の早期実現のために、県の担当部署に予算要望のお願いをしても簡単には受け入れてもらえず、繰り返し事業の必要性を説いておりました。

また、議会の一般質問や議員の総会などについて改革を求めても、変更することは非常に難しいものでした。

### ● 喜び

苦勞はありましたが、それを実現できたときの喜びは大変大きなものでした。皆さまの長年の夢であった青木通りの拡幅工事がその一つです。

また、大山緑地の指定を受け県から予算がついたこと、高浜貯木場の跡地にマリーナを誘致できたことなどもあります。

それと同時に、多くの市民の皆さんと交流できたこと、高浜市の様々なことを自ら体験できたことも議員という仕事の喜びでありました。

## — これからの生活 —

今までお世話になった方々に對し、報恩感謝の気持ちをお忘れず、地域の発展のために貢献したいと思っております。

また、協力してくれた家族に對し、できる限りの家族サービスをしたい、自分の趣味を活かして皆さま方に恩返しをしたいと考えています。

## — これからの若い人へ —

私は夢や願いを実現するために、達成するための目標を立て、どのような行動や働きかけをすべきかを念頭に行動してまいりました。そして多くのことを達成してまいりました。

そして物の見方や考え方や、判断の仕方がプラス思考であれば必然的に良好な考え方や行動ができ、成功への道標が出てきます。何事に対してもプラス思考で対処してください。